

経営比較分析表（令和元年度決算）

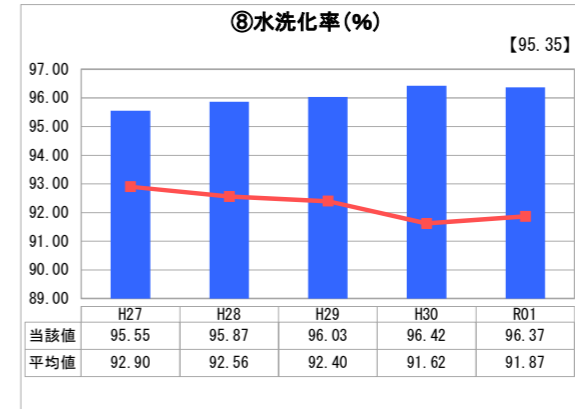
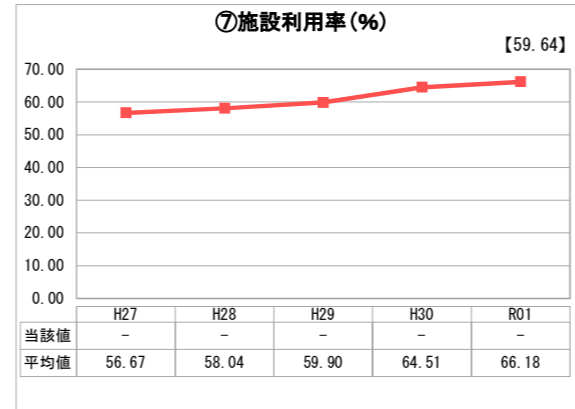
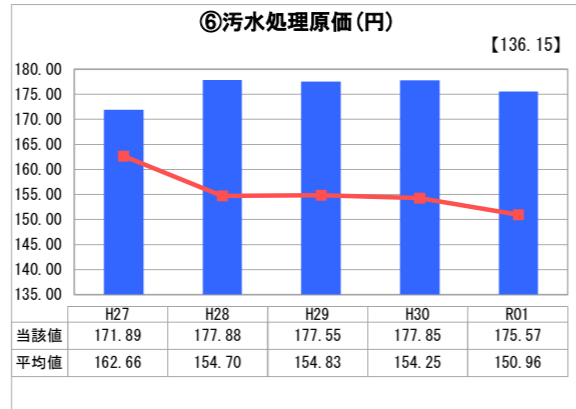
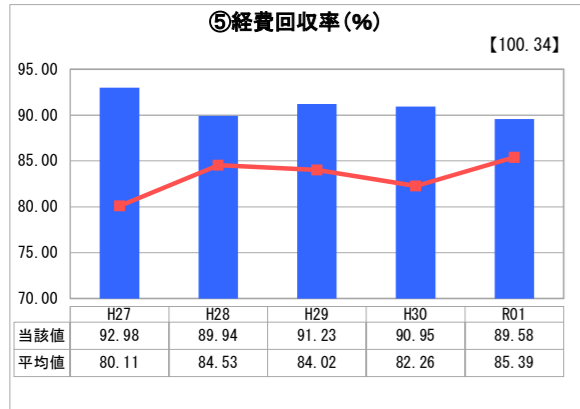
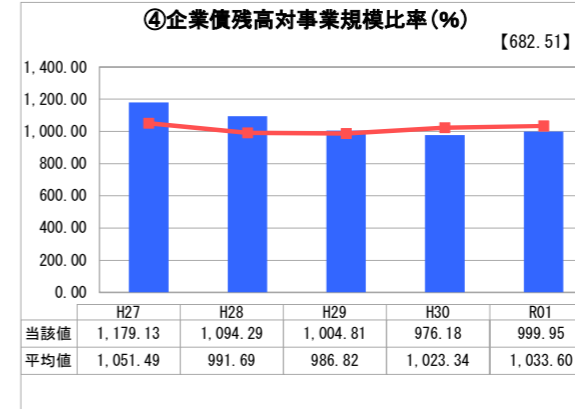
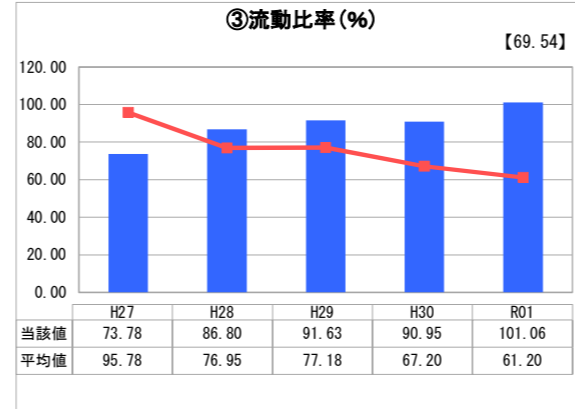
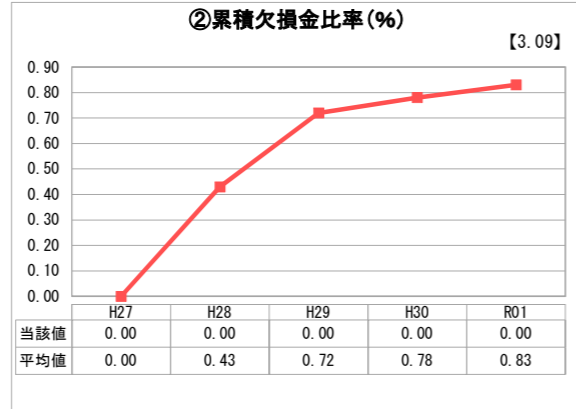
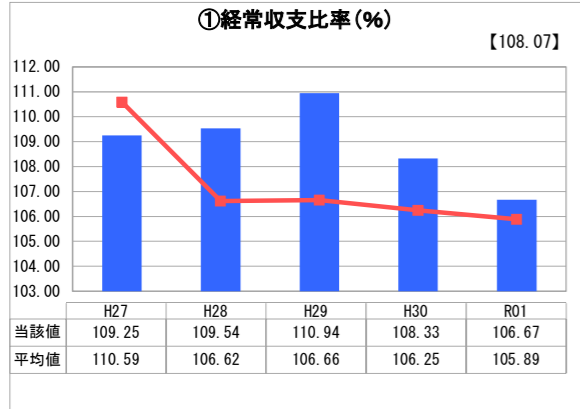
福岡県 粕屋町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	52.88	98.24	94.18	2,750

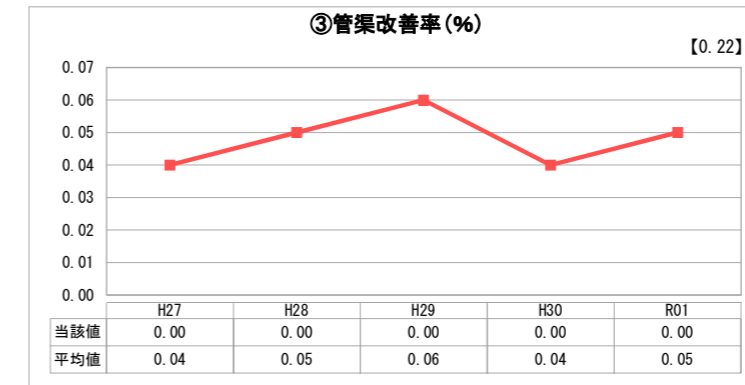
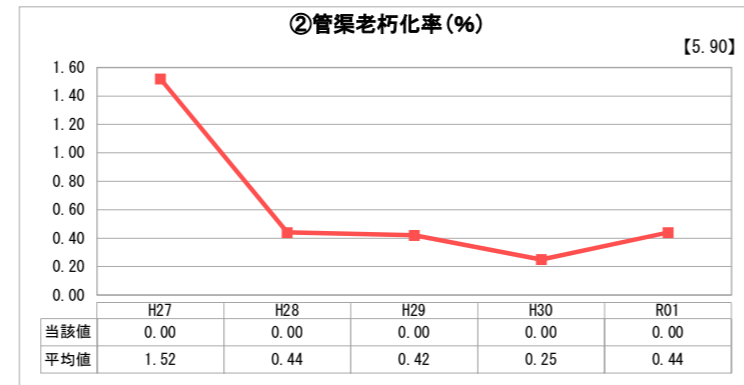
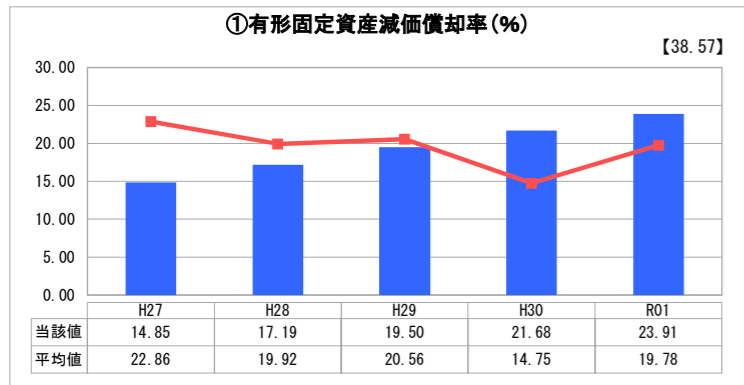
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
47,837	14.13	3,385.49
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
47,095	7.47	6,304.55

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超えているものの、大口使用者の水量減に伴う下水道使用料の減収により、経費回収率とともに、昨年度より比率が下がっている。
また、面整備もほぼ終わり、水洗化率も96%超と高率なことから、今後は大規模な開発のほか、使用料収入の大幅な伸びは見込めないため、料金改定も視野に入れた中長期的な計画を策定し、将来の管渠更新等に備えた留保資金の確保が必要である。
汚水処理原価が類似団体平均値を上回っているのは、町の施策による部分もあるが、今後も引き続き維持管理費の削減に取り組む等、効率性の向上を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

現在、法定耐用年数を超えた管渠等はないものの、老朽化は進んでいるため、更新時期へ向けて、適切な投資計画を立てる必要がある。

全体総括

現在の経営状況は今のところ健全であると考えられるが、高い水洗化率に達しており、収入の柱である下水道使用料の大幅な伸びは見込み難い。今後の人口増加、将来に向けた管渠等の更新も見据え、経営戦略の見直しを実施し、バランスの取れた計画的な投資を行う必要がある。
そのため、健全な経営状況を維持できるように、上記の方策を通してより効率的な経営を維持しなければならない。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。